

発芽野菜の村上農園

北海道に生産拠点、全国網羅

健康志向で2期連続の売上最高12.5億円へ

スプラウト（発芽野菜）生産で全国トップの村上農園（佐伯区）は1月、北海道伊達市南稀府町に生産センターを完成した。栽培試験を経て今春以降に出荷予定。生産拠点は13カ所となり、南は関東会社のある沖縄まで各地方のほぼ全てで供給体制を構築。最大年産200億円規模に。一般の需要伸長に 대응するとともに業務用を拡充し、2025年12月期売上高は2期連続最高の12.5億円を目指す。

2万9000平方メートルの借地に、1期工事で8700平方メートルの太陽光型植物工場を建てた。プロッコリーのスプラウト、エンドウ若菜の豆苗（とうみょう）、カイワレ大根などを生産。道内への供給リードタイムを短縮する。年間5億円ほどの出荷額を見込み、10年以内に倍増させる方針。同規模の2期工事も計画。一般に積雪の激しい北海道で冬の農業は極めて困難だが、植物工場による温度管理の徹底や融雪用の温水パイプなどの設備で安定生産を図る。

プロッコリーのスプラウト商品は



スルフオファン（がん予防や抗酸化、解毒力が期待できる成分）を豊富に含み、高齢・長寿命化社会で支持が広がっている。また、感染防御や免疫応答などに重要な機能を果たすとされる超硫黄分子も大量に含まれると明らかになり、メディアの紹介やSNSトレンド入りを受けて一時はスーパーで売り切れ状態に。健康情報番組や雑誌の特集内容がコロナ関連主体から、がん予防や抗酸化などと幅広くなり、追い風が吹く。習慣的に食べる消費者を増やし、売り上げは全体の5割を超えた。

外食産業の回復や天候不順で野菜の相場が上がる中、植物工場で安定生産する同社商品の価格優位性が相対的に向上。豆苗なども好調で、24年12月期売上高は前年比25%増の113億7600万円を計上した。村上清貴社長は「各種のコストが上昇し続けるが、値上げをほぼせずに生産効率化で対応してきた。生命を守る農ビジネスの実現へ、高成分野菜を毎日食べてもらう『定着』が最優先。コロナ禍で足踏みした業務用市場にも力を入れていく。同業者は個人の農家が多く、当社ならではのスケールメリットで外食チェーンの全国展開に対応したい」と話す。

例えば井やラーメンにのせる具材の定番化を狙う。調理の手間を減らすため、豆苗を事前にカット加工する機械の導入などを進めている。風味や色、形が多彩でホテルやレストランを対象としたマイクロハーブは、18年の開始から4億円に伸びた。

水の都ひろしま推進協会の行政や経済・観光団体、有識者などでつくる水の都ひろしま推進協議会は、河岸の緑地を民間事業者に開放する「水辺のオープンカフェ」で京橋川右岸地区（中区橋本町11）の新店を募る。4月7日午後5時までに郵送で申し込む。審査結果の通知は5月中旬頃。

稲荷大橋付近のB区画（敷地111平方メートル）、C区画（105平方メートル）、両区画一体利用の3種類。営業時間は最長午前7時〜午後11時まで

宿泊・婚礼・宴会
ご予約受付中！
ふれあう心、集う顔、とぎめきのホテル
三次グランドホテル
〒728-0014 広島県三次市十日市南1丁目10-1
☎(0824)63-3111 FAX(0824)63-3327

経営に安心と安定を
わたしたちは、法人・個人事業の会計業務を受託し、各種専門家士業と連携して、みなさまの経営をサポートしています。
株式会社 児玉会計
中区白鳥北町3番14号 児玉ビル
☎082-227-7010